

中学校からの指導を引き継いで ～中学校・高等学校連絡会～

6月26日（月）、中学校・高等学校連絡会を実施しました。

本校は、連携型中高一貫教育校として生徒理解に基づくきめ細かい指導を行っています。生徒が高等学校でたくさんのことを学び、一回り大きく成長して、それぞれの希望の進路に向かって進んで行くことができるよう、きめ細かい指導をとおして生徒一人一人を伸ばします。そのためにも、高等学校が中学校の先生方と情報を共有しながら指導に当たることができればと考えております。



連絡会では、本校1年生の出身中学校（青垣中学校、氷上中学校、柏原中学校、春日中学校）から、中学時代に生徒がお世話になった先生方に高校に来ていただきました。

最初に理科と数学の授業を参観していただき、生徒たちの学習の様子を見てもらいました。そのあと中学校の先生と本校1年生徒との中学校別の懇談会を実施しました。生徒たちは出身中学校ごとに分かれて、久しぶりにお会いする中学校の先生となごやかに懇談を行い、高校生活や中間考査の結果などを嬉しそうに報告する姿が見られました。



最後に、本校の1学年担当教員と中学校の先生方との懇談会を実施しました。1年生徒の入学してからの様子についてご報告するとともに、中学校の先生方から生徒たちの中学時代のお話をお聞きしました。

中学校の先生方からは、中学時代と比べて生徒たちが精神的にも大きく成長しており、高校生活をがんばっている様子がよくわかったという意見をいただきました。また、本校の教員は、中学校の先生方の生徒一人一人に対する強い思いを感じ、指導を引き継ぎ生徒を預かる立場として身の引き締まる思いであると述べていました。



「学校生活や学びの連続性を大切にした連携教育」が重要であると言われております。中学校の先生と、その生徒が入学した高等学校の教員が、生徒の13歳から18歳までの成長・発達を支援するという共通の視点で生徒を見ていくことはとても大切なことだと思います。中学時代に指導していただいた先生方に高校へ来ていただき、生徒たちと懇談をしてもらえる、そして生徒の成長に向けて中・高の教員がともに情報交換・意見交換が行えるのは、小規模校である本校のメリットだと思います。

（校長 高橋信之）